

魚類のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

県では不法投棄現場下流の杉倉川、熊原川に生育する魚類のダイオキシン類濃度の状況を把握するため、平成16年度よりイワナ・ヤマメ・ウグイの順で1年に1種類ずつ調査を行っています。

本年度はヤマメの調査を実施しました。

2 検体採取日

平成22年9月26日

3 調査結果

今回の調査結果では、ダイオキシン類濃度が0.18pg-TEQ/g-wetであり、これまでの調査結果と同様に十分低い値でした。

魚類のダイオキシン類調査結果

試料名	採取場所	濃度 (毒性等量)	摘 要
ヤマメ	熊原川	0.18 pg-TEQ/g-wet	<ul style="list-style-type: none"> ・毒性等量とは、各化合物の実測濃度に毒性等価係数 (TEQ) を用いて換算した値で、今回の調査ではWHO-TEF (2006) で定めたTEQを適用して算出。 ・定量下限未満の値を0として算出。

【参考】

1. 公表されている国の調査結果

年度	地域	試料名	毒性等量(pg-TEQ/g-wet)
H11	関東地方	ヤマメ	0.13~0.99
	中部地方		0.24~2.0
	九州地方		0.12

※平成11年度公共用水域等のダイオキシン類調査(環境省)より

2. 青森県(県境再生対策室)がこれまでに実施した魚類のダイオキシン類調査結果

年度	採取場所	試料名	濃度 (pg-TEQ/g-wet)
H16	熊原川	イワナ	0.28
H17		ヤマメ	2.50
H18		ウグイ	0.62
H19		イワナ	0.72
H20		ヤマメ	2.00
H21		ヤマメ	1.80